

施設名	八間堀川水門		ゲート形式	ローラゲート		扉体				
設備に要求される機能									洪水時に確実に全閉でき、止水が可能であること。	
装置区分	点検・整備		点検 *3				点検結果	備考		
	*1 重要機器	*2 機能に影響度合	項目	内容	*4 トレンド管理	*5 点検条件			定期	判定方法
						月点検				
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。	G		
	b		ごみ、流木、土砂等		前	E	ごみ、流木、土砂等がないこと。	G		
	b	塗装	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	一部塗装剥離有	
扉体	b	構造全体	振動		中	H	異常振動がないこと。	G		
	b		異常音		中	S	異常音がないこと。	G		
	b	スキンプレート	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	b	主桁,補助桁	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	a	ボルト,ナット	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
支承部	a	主ローラ,軸,軸受	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	a		給油状態		前	E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	a		回転状況		中	D	回転すること。	G		
	b	補助ローラ,軸,軸受	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	b		給油状態		前	E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	b		回転状況		中	D	回転すること。	G		
扉体付シーブ	a	シーブ,シーブ軸,軸受	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	a		給油状態		前	E	油が供給されていること。油が劣化がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	a		回転状況		中	D	回転すること。	G		
水密部	b	水密ゴム	変形		前	E	変形がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	b		損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ確認	
	b		漏水		有水	E	機能に支障がないこと。	G		
	b	ゴム押え板	変形		前	E	変形がないこと。	G		
	b		損傷		前	E	損傷がないこと。	G		

施設名	八間堀川水門		ゲート形式	ローラゲート		戸当り			
設備に要求される機能		洪水時に確実に全閉でき、止水が可能であること。							
装置区分	点検・整備		点 検 *3				点検結果	備 考	
	*1 重要 機器	*2 機能に 影響度 合 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件			定期 月 点 検
全 般	b	清掃状態			汚れ		前	E	ひどい汚れや油等の付着がないこと。
	b		ごみ, 流木, 土砂等		前	E	戸溝内にごみ, 流木, 土砂等がないこと。	G	
	b	塗装	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	
取 外 し 戸 当 り	b	主ローラレール	変形		前	E	変形がないこと。	G	目視可能範囲のみ点検
	b		損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ点検
	b	補助ローラレール	変形		前	E	変形がないこと。	G	目視可能範囲のみ点検
	b		損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ点検
埋 設 部	b	側部戸当り	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ点検
	b	コンクリート部	コンクリートの損傷		前	E	損傷がないこと。	G	目視可能範囲のみ点検

施設名	八間堀川水門		開閉装置形式	ワイヤロープウインチ式		開閉装置						
設備に要求される機能										洪水時または高潮時に確実に閉操作ができ、内水排除時に確実な開操作ができること。		
装置区分	点検・整備		点 検 *3				点検結果		備 考			
	*1重要機器	*2機能に影響度に対する	内 容	*4トレンド管理	*5点検条件	定期 月点検	判定方法	左岸		右岸		
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。	G	G	清掃実施		
	b	塗装	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G			
構造体	b	構造全体	振動		中	H	異常振動がないこと。	G	G			
	b		異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G			
	b	ボルト、ナット	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G			
動力部	○	電動機	振動		中	H	異常振動がないこと。	G	G			
			異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G			
			温度上昇	○	中	M	異常な温度上昇がないこと。	—	—			
			電流値	○	中	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	G	G			
			電圧値	○	中	M	作動時の定格電圧が±10%以内であること。	G	G			
	○	予備電動機	振動		中	H	異常振動がないこと。	—	—			
			異常音		中	S	異常音がないこと。	—	—			
			温度上昇	○	中	M	異常な温度上昇がないこと。	—	—			
			電流値	○	中	M	大幅な変動がなく、定格電流値以下であること。	—	—			
			電圧値	○	中	M	作動時の定格電圧が±10%以内であること。	—	—			
制動部	○	電磁制動機 電動油圧押し式制動機	作動状況		中	D	確実に作動し、瞬時に停止すること。	G	G	左岸ブレーキ手動開放不能		
			制動部の清掃状態		前	E	ひどい汚れ、油等の付着がないこと。	G	G			
			漏油		前	E	漏油がないこと。	G	G			
減速装置	○	減速機 (手動付)	振動		中	H	異常振動がないこと。	G	G			
			異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G			
			温度上昇		中	M	異常な温度上昇がないこと。	—	—			
			漏油		前	E	漏油がないこと。	G	G			
	○	ドラムギア ピニオンギア 中間ギア	異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G			
			給油状態		前	E	油が供給されていること。 油の劣化がないこと。	G	G			

施設名	八間堀川水門		開閉装置形式	ワイヤロープウインチ式		開閉装置					
設備に要求される機能		洪水時または高潮時に確実に閉操作ができ、内水排除時に確実な開操作ができること。									
装置区分	点検・整備		点検 *3				点検結果		備考		
	*1重要機器	*2機能に影響度合に対する	内容	*4トレンド管理	*5点検条件	定期 月点検	判定方法	左岸		右岸	
動力伝達部	○	切換装置	a	作動状況		中	D	スムーズに切換えられること。	G	G	
			b	振動		中	H	異常振動がないこと。	G	G	
			b	異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G	
			a	温度上昇		中	H	異常な温度上昇がないこと。	—	—	
			b	漏油		前	E	漏油がないこと。	G	G	
	○	手動装置	a	作動状況		中	D	スムーズに切換えられ、手動操作が行えること。	G	G	
			b	振動		中	H	異常振動がないこと。	G	G	
			b	異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G	
			b	漏油		前	E	漏油がないこと。	G	G	
	○	b	連動軸	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G	
				軸受	異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G
		a	温度上昇			中	M	異常な温度上昇がないこと。	—	—	
		b	たわみ軸継手 (歯車形軸継手) (ローラチェーン 軸継手)	振動		中	H	異常振動がないこと。	G	G	
				異常音		中	S	異常音がないこと。	G	G	
扉体駆動部	○	シーブ軸, 軸受	a	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G	
			a	給油状態		前	E	油が供給されていること。 油の劣化がないこと。	G	G	
			a	回転状況		中	D	正常に回転すること。	G	G	給油実施
	○	ワイヤロープ	b	ごみ、異物の 付着		前	E	ごみ、砂塵等がロープに 付着していないこと。	G	G	目視可能範囲のみ確認
			a	変形		前	E	線の不規則な飛出し、部分的 な籠状、キンク等がないこと。	G	G	目視可能範囲のみ確認

施設名	八間堀川水門		開閉装置形式	ワイヤロープウインチ式		開閉装置					
設備に要求される機能			洪水時または高潮時に確実に閉操作ができ、内水排除時に確実な開操作ができること。								
装置区分	点検・整備		点 検 *3				点検結果		備 考		
	*1 重要 機器	*2 機能に 影響度 合 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定期 月 点 検	判定方法		左 岸	右 岸
保護装置	○	a	ワイヤロープ 端末調整装置	ロックナット		前	E	ゆるみがないこと。	G	G	
	○	a	制限開閉器 (カウンタ式)	作動状況		中	D	設定値にて正常に作 動すること。	G	G	
		a		変形		前	E	変形がないこと。	G	G	
		a		損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G	
	○	a	直動形リミ ット スイッチ	作動状況		中	D	設定値にて正常に作 動すること。	G	G	
		a		変形		前	E	変形がないこと。	G	G	
a		損傷			前	E	損傷がないこと。	G	G	右岸非常上限L/S 配管破損	
開度計	b	機械式	作動状況		中	D	実揚程と指針表示が 合致していること。	G	G		
給油装置	b	給油ポンプ	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G		
	b	分配弁	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G		
予備電力	b	発電機	始動性		前	D	円滑に始動できるこ と。	N		バッテリー不良	
	b		振動		中	H	異常振動がないこと。	G			
	b		異常音		中	S	異常音がないこと。	G			
	b		漏油		前	E	漏油がないこと。	G			
	b		燃料油量		前	E	油面計の規定内であ ること。	G			
	b		潤滑油量		前	E	油量計の規定内であ ること。	G			

施設名		八間堀川水門				機側操作盤		機側操作盤		
設備に要求される機能		水門扉の確実な制御ができること。								
装置区分	点検・整備		点検 *3				点検結果	備考		
	*1 重要機器	*2 機能に 影響度 合 する	項目	内容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件			定期 月 点 検	判定方法
全般	b	盤全般	清掃・塗装状態		前	E	ひどい汚れ、ごみ等がないこと。 鋼板表面に塗装の剥れ、腐食がないこと。	G		
			破損		前	E	破損がないこと。施錠が完全であること。	G		
			絶縁抵抗	○	断	M	絶縁抵抗計にて計測を行い、1MΩ以上であること。	G		
	a	機器、 計器類共通	汚れ		前	E	汚れがないこと。	G		
			端子のゆるみ		断	E,H	端子のゆるみがないこと。	G		
			異常音		中	S	異常音がないこと。	G		
計器類	b	電流計	電流値	○	中	M	大幅な変動がなく定格電流値以下であること。	G		
	b	電圧計	電圧値	○	中	M	作動時の定格電圧が、±10%以内であること。	G		
開閉器類	○	a	電磁接触器	動作テスト		前	D	異常なく作動すること。	G	
				異常音		前	D,S	異常音、振動がないこと。	G	
	○	a	漏電継電器	作動テスト		中	D	テストボタンを押して作動すること。	G	
リレー類	○	a	補助リレー	作動テスト		中	D,S,E	異常音、振動がないこと。	G	
				異常音		中	D,S,H	異常音がないこと。	G	
	a	3Eリレー	作動テスト		前	D	テストボタンを押して作動すること。	G		
			設定値確認		前	E	図面通りの設定値であること。	G		
タイマー	a	タイマー	設定値確認		前	E	図面通りの設定値であること。	G		
押釦	○	a	押釦スイッチ	作動テスト		中	D,E	開、閉、停が的確に作動すること。	G	
表示灯	b	表示灯	ランプテスト		前	D,E	点灯すること。	G		

施設名	八間堀川水門					開閉装置室	付帯設備				
設備に要求される機能		開閉装置および管理者を、風雨、炎天下より保護する。									
装置区分	点検・整備		点 検 *3					点検結果		備 考	
	*1 重要機器	*2 機能に影響度合	項 目	内 容	*4 トレンド管理	*5 点検条件	定期	判定方法	右岸		左岸
	月点検										
全般	c	清掃状態	汚れ		前	E	ひどい汚れ、油の付着がないこと。	G	G	門柱に落書有	
	b	塗装	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	G		
開閉装置室	b	屋根	損傷		前	E	雨漏りがないこと。	G	N	左右:雨漏り跡有 左:化粧モルタル剥離有	
	b	壁	損傷		前	E	割れなどがないこと。	G	G	クラック有	
	b	窓	損傷		前	E	損傷がないこと。	N	G	損傷有	
	b	入口扉	損傷		前	E	損傷がないこと。	N	N	扉下部腐食有	
	a		施錠		前	D	施錠されていること、できること。	G	G		

施設名		八間堀川水門				手摺, 階段, 防護柵		付属施設	
設備に要求される機能		操作員の安全の確保							
装置区分	点検・整備		点 検 *3					点検結果	備 考
	*1 重要 機器	*2 機能に 影響度 合 する	項 目	内 容	*4 ト レ ン ド 管 理	*5 点 検 条 件	定期 月 点 検		
全 般	c	清掃状態	汚れ		前	E	ひどい汚れ, 油等の 付着がないこと。	G	階段部照明に球切れ有
	b	塗装	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	
防 護 柵	b	防護柵	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	
	b		溶接部の割れ		前	E	割れがないこと。	G	
固 定 部	b	アンカボルト, ナット	損傷		前	E	損傷がないこと。	G	